

## 日本物理学会北陸支部特別講演会

日 時：2015年4月10日(金) 16:00～

場 所：福井大学 文京キャンパス 総合小2 講義室（総合研究棟 I 2階）

講 師：大阪大学核物理研究センター・特任助教 中島 恭平先生

講演題目：ニュートリノ観測と二重ベータ崩壊探索

講演概要：

素粒子の一つであるニュートリノは特異な性質を持っており、非常に物質と反応しにくく、また飛行中にニュートリノの種類(フレーバー)が変化するニュートリノ振動を起こします。近年の研究成果によってニュートリノ振動の理解が進み、ニュートリノを使って太陽や地球、原子炉内をモニターしようという実験が進行中です。さらにニュートリノは中性であるため、ニュートリノと反ニュートリノが区別つかないマヨラナ粒子である可能性を秘めています。この可能性を探る実験に二重ベータ崩壊探索があります。本講演では近年のニュートリノ観測について紹介し、また講演者の取り組んでいる CANDLES を中心として、世界で進行中の二重ベータ崩壊実験について説明します。

世 話 人：小川 泉（福井大学 工学研究科）